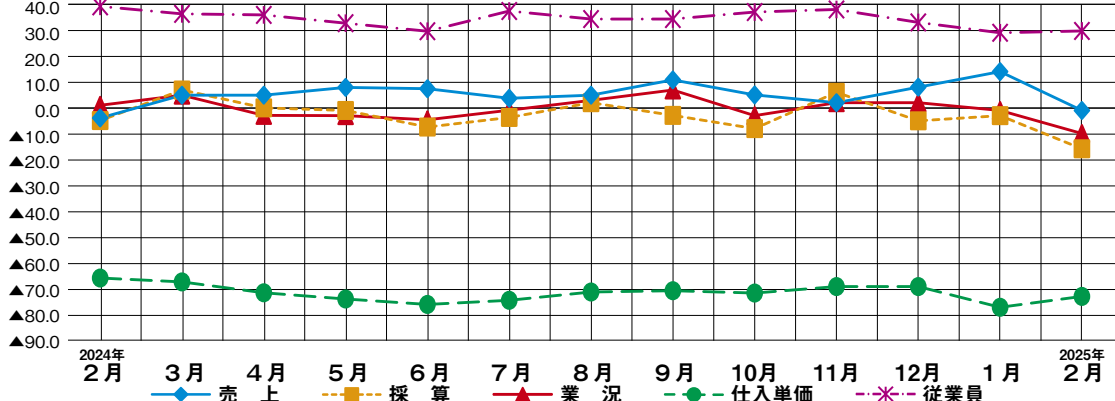


直近、先行きのDIは共に全体的に悪化、特に「売上DI」は大幅な悪化
 災害級の大雪が経済活動に大きな悪影響を及ぼす

【2月の概要】

直近の景況感を示すDI値は、「仕入単価DI」が4.2ポイント改善した。一方、「売上DI」が▲15.0ポイント、「採算DI」が▲12.8ポイント、「業況DI」が▲8.9ポイントと大幅に悪化。「従業員DI」は0.7ポイント人手不足感が強まった。「売上DI」は1年ぶりにプラス水準からマイナス水準へ転じた。「採算DI」は▲15.8ポイントと、過去2年間で最低水準となった。
 先行き見通しを示すDI値は、「採算DI」が2.1ポイント改善。一方、「売上DI」は▲9.1ポイント、「業況DI」は▲1.0ポイント、「仕入単価DI」は▲3.5ポイントと悪化。「従業員DI」は2.7ポイント人手不足感が強まった。
 コメントでは、諸物価高騰・人件費の上昇に苦しむ声が引き続き寄せられた。また、大雪の影響から水産業やホテル業界、運輸業は顕著な打撃を受けたことが窺える。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (2023年2月~2024年2月)



	全産業平均DI値					向こう3か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
2024年2月	8.0	▲5.0	2.0	▲69.0	33.0	0.0	▲10.0	6.0	▲42.0	31.0
12月	14.0	▲3.0	▲1.0	▲77.0	29.0	15.0	▲4.0	▲2.0	▲52.0	26.0
1月	▲1.0	▲15.8	▲9.9	▲72.8	29.7	5.9	▲7.9	▲3.0	▲55.5	28.7
2月										

寄せられた主なコメント

建設業	資機材の値上げ、人件費上昇、諸物価高騰が設備投資の控えに繋がりと、工事量が減少している。(設備・管工事業) 今月に関しては大きな工事が終わり売上も増加したが、人材確保のための出費も増加している。また物価高に加え人件費も増加しており、収益を圧迫している。(電気工事)
製造業	期末ということもあり、業況見通しがあまり良くない。トランプ大統領次第で今後の状況も変わってくるだろう。(板金・溶接)
卸売業	寒気の流入による降雪は、中央卸売市場及びピア万代においても災害級であり、売上は大幅に下方修正。新潟漁協の水揚げ高も極めて少なかった。(水産) 食料品関係の値上げが家計を圧迫し続けている。エンゲル係数が上がれば可処分所得が減少し、消費行動に深刻な影響が出てくるのではないかと危惧している。(コーヒー)
小売業	仕入単価の上昇が、今後の業況に影響を及ぼすと思われる。また、春闘で時給が上がってもその水準まで上げられるか疑問。(印刷・印鑑・雑貨)
サービス業	寒波の報道以降キャンセルの連絡が増加し一気に動きが悪くなった。また、長引くエネルギーコストの上昇や実質賃金低下等のマイナス要因により、先の予約状況も鈍い状況である。(ホテル) 闇バイトによる強盗事件の発生が体感治安の悪化を招いていることから、セキュリティ需要が高まり業界をはじめセキュリティ導入に関する問い合わせが増えている。(警備)

工場・倉庫・HACCP 対応食品工場の建築おまかせください!!

コスモ建設株式会社
システム建築事業部

プランへの対応性
建築コストの低減
工期の短縮
建物の信頼性

システム建築で事業課題にお応えします。

コスモ建設(株)で検索
プラン図概算見積無料

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 2-2-25
TEL: 025-245-7111 FAX: 025-245-7119
メールアドレス: info@cosmo-k-co.com

※日鉄物産システム建築(株)の施工会員です。